

ALCARE

つながりあて、ひらくケア。

セルケア[®]2 Cellcare 2

Remoiss

ツープースオストミーシステム
2-Piece Ostomy System

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元にご置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)
www.alcare.jp

準備

① ストーマ周囲を清拭します

器具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュペーパーなどで拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯を染み込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面版が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに接触を与えますので、使用は避けてください。

【ウロストミーの方の場合】

清拭の間にも尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ（ガーゼ）を丸めてテープで止めたもので尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

④ 面版を貼る位置を確認します

左手側にストーマがある方は、この矢印 ↑ が上にくるように貼付してください。

面版表面 (剥離フィルム)

右手側にストーマがある方は、この矢印 ↑ が上にくるように貼付してください。

右手側の方は右ストーマ
左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面版の方向を確認してください。

使用手順 (排便バッグとの接続方法) <D キャップの場合>

就寝時など、排便バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

① 口具キャップを外します

排出口を上に向け便が出てこないよう注意しながら、口具キャップを外します。

② 端部を差し込みます

排便バッグの端部を、口具の太くなくるところを超え、差し込みます。

③ 端部を引き戻します

排便バッグの端部を、口具の引っかけりのある部分まで引き戻します。

排便バッグ (別売商品) のご紹介

* (排便バッグ) (当社製品) の場合、バッグの先端が口具にぴったりフィットします。

使用上のご注意

排便バッグに接続の場合、詰まりにご注意ください。排便物が定状態の場合など、排便バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。流れが悪い場合は、排便バッグの併用をお断りください。

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分の面版が独立した二品系(ツープース)器具です。面版はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従ってご使用ください。なお、商品についてご不明な点は、お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受け、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。誤った取り扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

注意

- ストーマ周囲には軟膏など、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜剤もその特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください。)
- 剥離フィルムを剥がした面版の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- 一度剥がした面版をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。

使用手順 (面版の貼り方) *フリーカットをご使用の方は①から、プレカットをご使用の方は④からお読みください。

●フリーカットの場合 *イラストはFです。

① ストーマの大きさを測ります

ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてついています。

② 面版に穴を開けます

穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面版の剥離フィルム側に重ね合わせ、面版に穴の大きさを書き写します。その線よりも1~2mm程度大きめに面版を切り取ります。

③ 穴の大きさを確認します

剥離フィルムを剥がす前に面版をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

●この場合には

- ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合
別売りの各種皮膚保護剤で、皮膚表面を整えから面版を貼ってください。または、凸面タイプの手紙を併用してください。
- 平坦または陥没タイプのストーマの場合
面版の穴をストーマより2~3mm大きめに開け、別売りの各種皮膚保護剤で、すき間を埋めてください。または、凸面タイプの面版をご使用ください。

セルケア2の種類と各部の名称

●面版

F 平面タイプ
交換目安:2~5日

取り外し用タブ
剥離フィルムタブ

Fc 凸面タイプ
交換目安:2~5日

取り外し用タブ
剥離フィルムタブ

●ストーマ袋

Df コロ/イレオストミー用

通気回復フィルター
取り外し用タブ
排出口
クリップ

Cf コロストミー用

通気回復フィルター
取り外し用タブ

●ご使用中のストーマ袋の中を水などで洗浄することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。

●器具を装着状態で折り曲げないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。

●面版の粘着部分が冷かなくなっている、貼り付きが強い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。

●フリーカットの場合、面版に開ける穴は、定められた有効径を越えて切らないでください。面版からのモレの原因となります。

●排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、適宜お捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。

●器具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。器具の交換日数は、尿や排泄物などにより異なりますが、2~5日交換が目安です。

●万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

保管上のご注意

粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。

- 高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
- 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
- 直射日光があたる場所での保管
- 圧迫がかかる場所での保管
- 長期保管

*箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。

●面版の剥離フィルムを剥がした状態での保管

廃棄上のご注意

使用済みのストーマ器具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。器具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自自治体にてご確認ください。

使用手順 (ストーマ袋の装着方法)

① ストーマ袋の位置を合わせます

ストーマ袋を持ち、面版とおおよその位置を重ね合わせ、上下左右にずれないことを確認します。

② ストーマ袋をはめ合わせます

リングの位置合わせができた後、親指と他の指ではさむようにして、指を移動させながらはめ合わせます。

③ ストーマ袋の外し方

ストーマ袋の取り外し用タブをストーマ袋と一緒に持ち、もう一方の手で面版側の取り外し用タブを押さえるながら、ゆっくりストーマ袋をのけるように外してください。

●より確実に固定する場合

面版を皮膚に密着させ、確実に固定するには、ベルト(固定ベルト・II)の併用が効果的です。ベルトのご使用方法は固定ベルト・IIの取扱説明書をご確認ください。

●この場合には

- リング部分に排泄物などが付着している場合は、しっかりと取り除いてください。
- 《セルケア2》以外の器具との組み合わせはできません。

使用手順 (排出口の開閉方法) <Dfの場合>

●Dfの排出口の閉じ方

① クリップを開きます
図のようにストッパーを押しながら引き上げて、クリップを開きます。

② ストーマ袋を巻きつけます
引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一重に巻きつけます。
*クリップのカーブが体に合うように向けてください。

③ クリップを閉じます
ストッパーを押しながらクリップを閉じます。
*最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

●Dfの排出口の開け方 / 排出方法

① クリップを外します
しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き上げてクリップを外します。
*ストーマ袋を押さえておくことで、クリップを外した際に、急に便が排出されることを防ぎます。

② 便を排出します
ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモレの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向け、ストーマ袋内の便を排出します。
*ストーマ袋の折り返しやすさを確認してください。

③ ストーマ袋の先端をクリップで止めます
便の排出が済んだら、排出口部分をストッパーペーパーなどで拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

使用手順 (排出口の開閉方法) <TDfの場合>

●TDfの排出口の閉じ方

① 末端を折り戻します
末端のプレートを手前に4回折り上げます。
*折り上げにゆるみや原因があると、便や臭いモレの原因になります。

② 面ファスナーのフック面が表になります
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表になります。

③ フック面にループ面を重ねます
フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押しつけて面ファスナーを止めます。

●TDfの排出口の開け方 / 排出方法

① フラップ部分を剥がします
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がします。

② 折り上げた部分を開きます
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートがU字に折り曲げると排出口が開いた状態で保持され、排出が簡単にできます。
*V字にしっかりと折って、クセをつけます。

③ 便を排出します
ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出します。
*排出口の先に便が残っていると、便や臭いのモレが発生することがありますので、排出口付近はしっかりと拭き取ってから閉じてください。

使用手順 (排出口の開閉方法) <D キャップの場合>

●D キャップの排出方法 / 排出口の閉じ方

① キャップを外します
排出口を上に向け、便が出てこないよう注意しながらキャップを外します。
*排出口に残りが多い場合には、口具部分を指先で押して、便をしぼり出してください。

② 便を排出します
キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向け、便を排出します。

③ キャップを閉じます
排出が終わりましたら、排出口部分をイレイトペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

●この場合には

- ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。
- ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。
*クリップの使い方は「使用手順 (排出口の閉閉方法) <D の場合>」をご覧ください。

接続チューブの使用上のご注意

接続チューブ(ツメ部分)は、排出口(カサ部分)の上まで確実に差し込んでください。

●接続チューブの接続状態について

*差し込みが確実にない場合、接続チューブが外れる原因となります。

接続チューブのツメ部分が排出口のツメ部分の上まで差し込まれている状態は正しいです。

排出口の上まで差し込んでいない状態は間違いです。

ツメ部分
カサ部分

接続チューブの使用上のご注意

●接続チューブの接続状態について

*回転が不十分な場合や可動域を超えて回転させた場合、排出口の汚れや「壊れ」の原因となります。

完全に閉じた状態
操作つまみとストーマ袋の間に、すき間がありません。

完全に開いた状態
操作つまみとストーマ袋の間に、約6mmのすき間があります。

約6mm